

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 困難を抱える人の就労支援について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市第四期地域保健福祉計画では、だれもが担い手、お互いに支えあいながら、安心して暮らせる地域共生社会をめざして、小平市第三期福祉のまちづくり推進計画では、だれもが暮らしやすく思いやりのあるまちをこだいらを基本理念としています。

コロナ禍において、廃業や休職に追い込まれ、生活が困窮してしまうことや、外出する機会が減少し社会との関わりが希薄になってしまうなど、社会参加や就労の支援を必要とする人が増えています。障がいがあってもなくても働きたい人が働くことができる小平市であるよう以下質問します。

1, 市内の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の直近の人数と、ここ3年でその数が増加しているか減少しているかについてもお示ください。

2, 障がいのある人への就労支援について

- (1) 市内の就労継続支援 A 型、B 型事業所数をお示ください。
- (2) 小平市障害者就労・生活支援センターほっとと連携してどのような取り組みを行っていますか。
- (3) テレワークは通勤などの移動がないことや時間の制限がないことが多いため、障がいのある人も比較的受け入れやすいと考えます。庁内での雇用の創出にもつながるテレワークの実証実験について見えてきた課題と成果をお示ください。
- (4) 障がいがある人で、働く意欲があり、短時間なら働ける人に向けて、就労の場、機会を創出することは、障がいがある人も無い人も働きやすい環境につながると考えます。庁内での雇用の創出の可能性についてご見解をお示ください。
- (5) 今年4月に開設した児童発達支援センターでは就労を見据えた子どもたちの進路についての相談や助言を行っていますか。

3, 生活困窮者の就労支援としてどのような取り組みを行っていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和4年8月29日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

25	24	23	22

-(/)